

水辺の生き物を学習 調査会に小学生ら 24 人

日光市・下猪倉くらかけ会
下野新聞 2017年7月24日

夏本番 自然楽しもう

水辺の生き物を学習

日光 調査会に小学生ら24人



【日光】地元の下猪倉地区の水路に生息する生物の特徴などを学ぶ生き物調査会(下猪倉くらかけ会主催)が23日、同地区で行われた。地域住民や夏休み中の小学生など計24人が参加し、ミズカマキリやホトケドジョウなどの生き物などと触れ

中茎事務局長(左端)から生き物の特徴を学ぶ参加者たち

合った。
毎年の恒例行事で6年目。今年は、水質が良く在来種の生き物が多い農業用水路「前沢堀」の約150

以区間で調査し、参加者は網を使いながら約200匹の魚類や水生昆虫などを採集した。

その後、県内で環境保全活動に取り組む「メダカ里親の会」の中茎元一事務局長(69)が講師となり、各生物の雄雌の違いや生態などを丁寧に解説。子ども

たちは手で触ったり、虫眼鏡で観察したりしながら興味津々の様子で学んでいた。

猪倉小6年福田さくらさん(12)は「ドジョウやサワガニを捕まえられた。自然と触れ合えるのは楽しい」と笑顔で話した。

(渡辺和博)